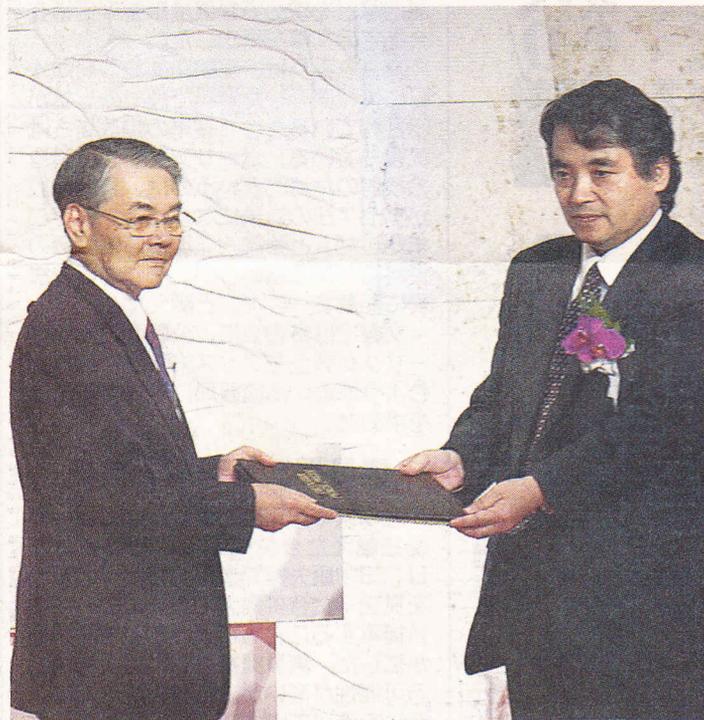


県とともに国際貢献

アムダに沖縄平和賞贈呈



アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体に贈られる。受賞者の特定非営利活動法人アムダ（AMD）縁共同体のつながりが強

い沖縄の特徴を生かした平和貢献や知事外交のサミット開催など三項目を「沖縄イニシアチブ世界平和三位一体構想」として提案。県とアムダが協力して国際社会や平和に貢献することを呼び掛けた。（2、25面に関連）

授賞式で、沖縄平和賞委員会会長の稲嶺恵一知事は「賞を通し、平和を希求する沖縄の心を世界に発信するとともに、平和の構築、維持に貢献する活動を支援すること」で、沖縄がアジア・太平洋地域の平和の交流拠点となることを目指すとあいさつした。

尚弘子副委員長は「アムダの活動の根底にある相互扶助の精神と、多様

性の共存という目標は、県の持つ歴史的、文化的特性などを反映して恒久平和の創造に貢献するものとして創設された賞の趣旨に通ずる」と、選考理由を報告した。

菅波代表に賞状と副賞の一千万円、アムダ沖縄支部の大仲良一支部長に記念品などが贈られた。

沖縄尚学付属中学三年の照屋全宝さんが平和へのメッセージとして詩を朗読。県内四百三十六小中学校、十五万二千五百五十三人が制作に携わった平和の折り鶴が、児童生徒代表四人から贈られた。授賞式後、菅波代表の記念講演などやレセプションが行われた。

稲嶺恵一知事から沖縄平和賞の賞状などを贈られた菅波茂代表＝22日午後3時半ごろ、名護市の万国津梁館